

第5学年道徳学習指導案

日時 平成24年9月27日(木) 5校時

対象 5年生(男18名 女17名 計35名)

指導者 村田 義則

- 1 主題名 責任をもって役割を果たす(社会的役割の責任と自覚 4-(3))
- 2 資料名 残った仕事(東京書籍 希望を持って 5年)
3. 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章道徳の内容の第5学年及び第6学年の内容の4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の(3)は「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」となっている。この内容項目は、中学校の内容の4の(4)「自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。」へと発展していくものである。

高学年においては、いくつかの集団に所属しながら、それぞれの目標に合わせて自分の役割を果たさなければならないことが多い。また、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることは、集団の活動を円滑に進めたり、よりよい集団に変えたり、所属感を高めたりすることにつながり、さらに自分の存在意義を感じ、よりよい生き方を目指そうとすることにつながっていくものと考えられる。

この期の児童は、自分が属している集団の目的や意義を理解し、自分の役割を進んで考えることができる時期である。そして、集団への所属感を実感した時、さらに集団のために役に立とうと創意工夫して活動しようとすることができる。そこで、まず、身近な集団の中の自分の役割を自覚し、協力して役割を果たそうとする心情や態度を育て、集団のために自分が行うべきことはしっかり行う態度を育てることが大切である。

(2) 児童について

本児童は、学級の係活動をはじめとして、各委員会やクラブに所属し活動している。また、6月に行われた区界合宿では一人一人が係としての役割を担い、所属する集団を支えるために活動した。これらの経験を生かして、自分の役割を自覚し、その責任を果たそうとする意識を持つ児童が増えている。しかし、自分の責任を最後まで果たさなかったり、自分の担当する仕事にしか目を向けなかったりする児童もおり、「集団のためにできることを主体的に最後まで行おう」という意識はまだ薄い。

そこで、集団のために自分ができることを主体的に考え、最後までしっかり行うことが、役割を自覚し責任を果たすことであるということに気づかせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、主人公を含めた図書係の3名が、学級に寄贈された図書を貸し出すための準備作業に取り組んでいるところへ、同級生が同じ係の一人を遊びに誘うためにやってくる。主人公は遊びに誘われた友達に対して作業を続けるように求めるが、もう一人の友達が仕事を肩代わりすることを承諾したため、結局、2人で作業を行うことになる。結果的に、その日のうちに作業を終わらせることはできず、主人公は、仕事を放り出して遊びに行った友達と、できもしない仕事を請け合うという行動をした友達を見ながら憤る。

本資料は、自分が果たすべき役割は何か主体的に考え、最後までしっかり行うことを誠実に果たすことこそが、役割を自覚し責任を果たすことにつながるということに気づかせる上で適した資料である。

(4) 指導の態度

今年度の「“河北”輝きステージプラン」のテーマは、「社会的責任の自覚と責任」であり、2学期の目指す子ども像を「集団における自分の役割を自覚し、最後まで主体的に責任を果たそうとする子ども」と設定した。これまで、運動会や区界合宿の取り組みを通して、自分の役割を理解させ、忘れずに取り組むように促してきた。また、運動会や金管バンドの練習、区界合宿の中で、自分の役割をしっかりと行うことで集団の活動がよりよいものになることを実感させてきた。

本時では、「深める」段階で、異なる立場の子どもの意見交流を図りながら登場人物3者の心情に共感させたい。「つかむ」段階では、当初予定していた仕事が終わらなかったという状況を踏まえた上で、全体のための仕事を成し遂げるためには一人一人が自分の役割を最後まで果たすことが大切であることを考えさせたい。「広げる」段階では、日常起こりうる場面を提示して、どのように行動するのが望ましいのか考えさせたい。その際には、「深める」「つかむ」の話合いを通して学んだ価値意識が生かされるようにしたい。

4 本時の展開

(1) ねらい

集団の中で自分の役割を自覚し、最後まで主体的に責任を果たそうとする態度を養う。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	指導上の留意点 (◆は見つめる、◇はかかわり合いの手立て)
気づく 2	1 自分の生活を振り返る。 ○これまでの委員会活動で、大変だと感じたことにどんなことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> みんなが遊んでいるときに遊べなくて大変。 作業が委員会の時間に終わらなくて、休み時間にずれこむことがあって大変。 	◆事前に前期の委員会活動の振り返りをさせ、役割を果たすことについて自分を見つめさせる。
深める 20	2 資料を読み、感想を発表しながら、話し合いの方向性を確認する。 ○あなたは、この話を読んでどんな感想を持ちましたか。 ○どの場面の登場人物の気持ちを考えてみたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を果たさずに遊びに行ったことがよくないと思う。 仕事が終わらなかったときのぼくの気持ち。 次郎君が誘いに来たときのそれぞれの人物の気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの感想を生かしながら、本時の話し合いの方向性を確かめるようにする。
仕事が残ってしまった時、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。			
つかむ 10	3 主人公や登場人物の気持ちについて考え、話し合う。 ①朝の会が終わって集まった時、三人はどんなことを考えていたのでしょうか。 ②「クラスのため」と言われた時、三人はどんなことを考えたのでしょうか。 ③仕事が残ってしまった時、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> みんなを喜ばせたい。 明日から貸し出せるように頑張ろう。 <p>(ぼく)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の役割をきちんと果たすべきだ。 本当にクラスのためになることなのか。 <p>(佐代子)</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスのためにドッジボールを頑張る道夫君の代わりに、自分がやってあげれば何とかなるかもしれない。 <p>(道夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ドッジボールもクラスのためだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇三人のうちの誰の気持ちに近いかわかり、自分の立場を明らかにして意見交流させ、「クラスのため」という認識の違いを浮き彫りにしたい。このことにより、「本当のクラスのため」とは何か考えさせるきっかけにしていきたい。
広げる 10	4 自分自身を振り返る。 ○学んだことを生かしてみようと思うことにどんなことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 委員会や係で仕事が重なった時、何を先にやるべきか考えて行動したい。 きれいにするために、自分の役割を最後まで丁寧に行う。 	◆ねらいとする価値と照らし合わせて自分に何ができそうかわつめさせ、実践意欲を高めていきたい。
まとめる 3	5 復興支援の取り組みについて紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> 自分にできることを継続して誠実に行うことにより、集団のためになるということを感じ取らせたい。